

令和 8 年度

「医療安全セミナー・ワークショップ」を開催

オンデマンド配信と集合研修の2種類、主催：厚生労働省関東信越厚生局

医療安全セミナー・ワークショップは、医療安全対策に関する知識の修得、討議等を行うことにより、医療機関の安全管理者等の資質向上と医療の安全性の向上を図ることを目的としています。今年度は、ご都合のよい時間・場所で視聴できるオンデマンドセミナーと、院内の医療事故調査をテーマとした対面集合型のワークショップを開催します。

① セミナーコース：オンデマンド配信

② ワークショップコース※：集合研修

※ワークショップコースを受講希望の方は、セミナーコースのお申し込みが必須です

開催日時	・セミナーコース：オンデマンド配信 10月1日（木）～11月30日（月） ・ワークショップコース：10月21日（水）10時～17時30分
定員	セミナーコース：1,500人 / ワークショップコース：60人
開催方式	・セミナーコース：オンデマンド配信 ・ワークショップコース：集合研修
参加費	無料
対象者	・セミナーコース：関東信越厚生局管内の医療機関の管理者・医療安全管理者・その他医療安全に関わっている方、行政機関職員の方 ・ワークショップコース：関東信越厚生局管内の医療機関の医療安全管理者 ワークショップコースについて、本年度のテーマが医療事故調査制度の院内調査に関するものであることから、院内調査に携わる者（予定も含む）の参加を推奨します。
参加方法	セミナーコース（オンデマンド配信：定員1,500人） こちらからお申し込みください。 ウェブサイトURL https://form.dr-seminar.jp/seminars/vrfuoz/register_form_r8 ※事務局（委託）：デジストリーム(株)が申し込み受付を行います。  ワークショップコース（集合研修：定員60人） ※申し込み受付は終了しました。
開催場所	・セミナーコース：参加者へのオンデマンド配信のみ（集合開催なし） ・ワークショップコース：会場 ビジョンセンター市ヶ谷（最寄り駅：市ヶ谷駅） （〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21山脇ビル 2F） ワークショップ会場 URL： https://www.visioncenter.jp/ichigaya/access/
申込期間	・セミナーコース：9月10日(木)～11月27日(金) ・ワークショップコース：9月10日(木)～10月2日(金) 【終了】 ※コースごとに申込期間が異なりますので、ご注意くださいようお願いいたします。 ※いずれのコースも定員になり次第、申し込み受付を終了します。
留意事項	※ワークショップコースご希望の場合、必ずセミナーコースにもお申し込みください。 ※本セミナー・ワークショップは、診療報酬に係る医療安全対策加算に関する施設基準における「医療安全対策に係る適切な研修」の一部（不足する要件を補足する研修）には該当しません。 ※セミナーコースは「参加証」の発行は行いません。 ※ワークショップコースは「参加証」を発行します。
問い合わせ先	・セミナーコース：令和8年度医療安全セミナー事務局（デジストリーム(株)内） 電話：03-6240-9269 メール： event@tokyo-seminar-studio.com ※対応時間：土日祝を除く10:00～17:00 ・ワークショップコース：関東信越厚生局 医事課 医療安全担当 電話：048-740-0754 メール： iryouanzen-kanshin@mhlw.go.jp ※対応時間：土日祝を除く9:00～17:00

セミナーコース（オンデマンド配信）

講演 No.	内容・講師	
講演 1	医療事故性の判断と定型医療事故調査手法	長尾 能雅氏 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授
講演 2	「医療対話推進者の業務指針及び養成のための研修プログラム作成指針－説明と対話の文化の醸成のために－について」	稲葉 一人氏 中京大学法務研究所
講演 3	医療事故対策として重要な医用テレメータの電波管理～医用テレメータの電波管理実践ガイドの発行～	加納 隆氏 滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻 客員教授 総務省関東地域の医療機関における 電波利用推進協議会 座長
講演 4	令和8年度医療安全に係る制度改正について	厚生労働省 医療安全推進・医務指導室
講演 5	千葉県医療安全相談センターの概要と相談事例について	藤原 健太郎氏 千葉県健康福祉部医療整備課 医療指導班 班長
講演 6	医療安全支援センターの取り組み－医療機関との協働に向けて－	荒神 裕之氏 医療の質・安全学会

- ・ 講演1～6は録画配信となります。（講演1、6は、令和7年度に配信した内容と同一です）
- ・ 申し込みは先着順です。定員になり次第、申し込み受付を終了します。
- ・ 講演時間は1講演30分～60分程度です。（詳細は動画コンテンツをご確認ください）
- ・ **受講を希望する方は、1人ずつお申し込みください。同一のメールアドレスでの重複申し込みはできません。**

ワークショップコース（集合研修）

時 間	内 容	講師・内容等
10:00～10:05	開会挨拶	関東信越厚生局
10:05～10:10	アドバイザー挨拶	横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 診療教授 菊地 龍明氏
10:10～17:10	ワークショップ	テーマ 定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～ 講 師 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授 長尾 能雅氏 ファシリテータ 北里大学病院 医療安全推進室 診療講師 山本 啓央氏 横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 講師 植田 瑛子氏
17:10～17:20	総括	横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 診療教授 菊地 龍明氏
17:20～17:30	閉会挨拶	関東信越厚生局

- ・ 院内の医療事故調査を円滑に行うために何をすべきか（医療事故に該当するかどうかの判断方法、院内事故調査の手法、報告書の作成方法等）について、ワークショップ形式で学びます。
- ・ **セミナーコースの講演1を視聴の上、ご参加ください。**
- ・ 申し込み者多数の場合は、早期の締め切りまたは同一機関での参加人数を調整する場合があります。また、令和7年度に同ワークショップを受講されていない方を優先に選考いたします。あらかじめご了承ください。参加の決定については、後日メールにてお知らせします。
- ・ 研修会場までの交通費や昼食費等の経費は、自己負担になります。